

学校教育目標	「自分を見つめ ともに 未来をつくる子」 ○響き合う豊かな学びの中で 自分を見つめ ともに 探究する子(知) ○たくましく しなやかな 心と体を持ち 互いを大切にし ともに けんこうな生き方をつくる子(徳)(体) ○人やまちと関わり合いながら まちに誇りを持ち ともに 新しい価値をつくり出す子(公)(開)				
	学校概要	創立 114 周年	学校長 鳥山 真	副校長 小川 康介	2 学期制
児童生徒数:		735 人	主な関係校: 軽井沢中学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	軽井沢中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<探究する力> <けんこうな生き方をつくる力> <新しい価値をつくり出す力>	軽井沢中学校 宮谷小学校	○他と豊かにかかわりながら、よりよく問題を解決しようとする子ども ○自他を大切にし、しなやかに生きる子ども ○自らの心と体の健康を保持増進しようとする子ども ・上記3点を旨とした学校行事を含めた実践や生徒の感想などを含めた成果を、共有する。 ・PTAや地域を含めた、生徒の交流を図る。

中期取組目標	○ 問題解決的な学習過程を重視し、協働的な学びを通して、持続可能な社会の実現に向けて自らの生き方を考える子どもを育てます。 ① 問題解決的な追究過程を大切に、教育活動の作り方を見直します。 ② 地域、社会に広く材を求めながら生活科、総合的な学習の時間を中心とした探究的な学びを創ります。 ③ たくましくしなやかな心と体を育む健康教育のあり方を見直します。 ④ 人やまちと関わり合いながら地域・社会を大切にする気持ちを育てます。
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

重点取組分野	具体的取組				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">知</td> <td style="background-color: yellow;">授業改善</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>学力向上評価部</td> </tr> </table>	知	授業改善	担当	学力向上評価部	①教育課程全体で育成を目指す資質・能力を見童一人ひとりに育むため、「生活・総合」を中心とした研究を推進する。②資質・能力の育成が実現されているかを評価し、取組改善サイクルを構築する。③単元を通して考え理解することを明確にし、単元目標の達成を目指した単元構想の重要性を理解する。④問題解決的な学習を充実させるため、年間を通して授業改善を積み重ねる。
知	授業改善				
担当	学力向上評価部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">徳</td> <td style="background-color: yellow;">道徳教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>道徳部 重点研推進部</td> </tr> </table>	徳	道徳教育	担当	道徳部 重点研推進部	①道徳科の授業を要として学校の教育活動全体を通して行う道徳教育を推進する。 ②道徳科授業の充実、なかよし活動、人権委員会、清掃活動、集会活動等の実践を通して豊かな心の育成を図る。 ③あいさつを通して、地域や校内の自分を取りまく方々とのよりよい関係構築を目指し、全職員で取り組む。
徳	道徳教育				
担当	道徳部 重点研推進部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">体</td> <td style="background-color: yellow;">健康教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>体育部 重点研推進部</td> </tr> </table>	体	健康教育	担当	体育部 重点研推進部	①体育科を中心とした各教科での学習を通して、たくましくしなやかな心と体の育成を図る。②各教科・領域等での学習を通して、食に関する知識・食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができるようにする。③運動する楽しさや喜びを知り、日常生活における適切な体育的実践するとともに、生涯を通じて健康で安全な生活を送るための基礎が培われるようにする。
体	健康教育				
担当	体育部 重点研推進部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">公開</td> <td style="background-color: yellow;">創造に向かう学び</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>生活総合部 重点研推進部</td> </tr> </table>	公開	創造に向かう学び	担当	生活総合部 重点研推進部	①教育活動全体を通して育成を目指す資質・能力を具体化した総合的な学習の時間の全体計画を作成し、地域の人や物に関わる探究的な学習活動を進め、生活科を含んで重点研究として系統的に取り組む。 ②地域の人・もの・ことに豊かな関わり合いをもち、積極的に人材や地域材を生かした探究活動を展開する。
公開	創造に向かう学び				
担当	生活総合部 重点研推進部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">いじめへの対応</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>いじめ防止対策委員会</td> </tr> </table>	いじめへの対応		担当	いじめ防止対策委員会	①いじめについて、積極的に認知し、チーム学年で対応し、子どもの心情に寄り添うことを徹底する。 ②月1回以上いじめ防止対策委員会を実施し、認知された案件の経過確認を丁寧に行うことで再発防止に努める。 ③全教職員のいじめに対するアンテナを高くするとともに、年3回の児童アンケートにより些細な変化を見逃さない体制づくりをする。
いじめへの対応					
担当	いじめ防止対策委員会				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">人材育成・組織運営(働き方)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教務部・メンターチーム</td> </tr> </table>	人材育成・組織運営(働き方)		担当	教務部・メンターチーム	①5年次以下の教職員を中心にメンターチームを組織し、ミドルリーダーが講師となって月1回の活動を継続して行う。②学年主任による週1回の学年研の計画・運営等、ミドルリーダー等が全体を見通して学校運営していく場を設定する。③職場改善プロジェクトを運営組織の中に設置し、ICT活用による作業の効率化や職場環境の改善を行い、全職員の組織的な働き方改革につなげる。
人材育成・組織運営(働き方)					
担当	教務部・メンターチーム				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">児童生徒指導</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>児童指導支援部</td> </tr> </table>	児童生徒指導		担当	児童指導支援部	①「学校のきまり」が、児童にとって分かりやすい表現になっているかを確認し、きまりの目的とともに伝えていく。また、宮谷スタンダードを共有し、全職員が同じ指導をできるようにする。 ②「Y-Pアセスメント」を活用し、多面的な児童理解と具体的な支援・指導を実践する。③不登校児童、家庭ヘチームで対応し、学習の支援の在り方を探り、学びが継続できるようにする。
児童生徒指導					
担当	児童指導支援部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">特別支援教育</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>児童指導支援部</td> </tr> </table>	特別支援教育		担当	児童指導支援部	①個別支援学級の児童理解を全職員で行い、全職員で支援していくという意識をもつ。 ②誰一人取り残すことなく、児童一人ひとりが安心して授業に参加できるように取り組む。 ③特別支援教室を設置し、個別の教育支援計画をもとに、保護者の意向を確認しながら、SSTを中心に教室で学習を行うための支援をしていく。
特別支援教育					
担当	児童指導支援部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">地域学校協働活動</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>交流環境部</td> </tr> </table>	地域学校協働活動		担当	交流環境部	①学校運営協議会にて学校の状況について丁寧に情報交換し、協議内容を学校運営の改善に積極的に生かす。 ②学校地域コーディネーター、みやがや応援隊等との連携を強化し、地域の教育力を教育活動に生かすとともに、学校後援会・学校同窓会等を通じた地域の方と職員の顔の見える関係づくりに努める。
地域学校協働活動					
担当	交流環境部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">a15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>a25</td> </tr> </table>	a15		担当	a25	
a15					
担当	a25				